

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年12月10日(2020.12.10)

【公表番号】特表2020-508291(P2020-508291A)

【公表日】令和2年3月19日(2020.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2020-011

【出願番号】特願2019-541420(P2019-541420)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/50 (2006.01)

A 6 1 K 47/44 (2017.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/07 (2006.01)

A 6 1 K 31/122 (2006.01)

A 6 1 K 31/015 (2006.01)

A 6 1 K 31/375 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 31/355 (2006.01)

A 6 1 K 31/592 (2006.01)

A 6 1 K 31/593 (2006.01)

A 6 1 K 31/11 (2006.01)

A 6 1 K 31/232 (2006.01)

A 6 1 K 31/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/01 (2006.01)

A 6 1 K 31/047 (2006.01)

A 6 1 K 31/202 (2006.01)

A 6 1 P 3/02 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 31/22 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/50

A 6 1 K 47/44

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 31/07

A 6 1 K 31/122

A 6 1 K 31/015

A 6 1 K 31/375

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 31/355

A 6 1 K 31/592

A 6 1 K 31/593

A 6 1 K 31/11

A 6 1 K 31/232

A 6 1 K 31/12

A 6 1 K 31/01

A 6 1 K 31/047

A 6 1 K	31/202	
A 6 1 P	3/02	1 0 2
A 6 1 P	3/02	1 0 4
A 6 1 P	3/02	1 0 7
A 6 1 P	3/02	1 0 9
A 6 1 K	9/20	
A 6 1 K	31/22	

**【手続補正書】****【提出日】** 令和2年10月28日 (2020.10.28)**【手続補正 1】****【補正対象書類名】** 特許請求の範囲**【補正対象項目名】** 全文**【補正方法】** 変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

被覆粒子を製造する方法であって、前記被覆粒子が、

(a) 前記被覆粒子の全重量に対して、少なくとも 1 種の活性成分を含むコアを 4 0 重量% ~ 9 5 重量% ;

(b) 前記被覆粒子の全重量に対して、少なくとも 1 種のワックス及び / 又は少なくとも 1 種の脂肪を含むコーティングシステム ( 前記コア周囲のコーティング層を形成する ) を 5 重量% ~ 6 0 重量% ;

含む方法において、トップスプレー装置が前記コーティングに使用されることを特徴とする、方法。

**【請求項 2】**

前記コアが、室温にて前記トップスプレー装置内に導入される、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 3】**

前記入口温度が一定温度で維持される、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

**【請求項 4】**

前記入口温度が 3 0 ~ 6 0 の一定温度で維持される、請求項 3 に記載の方法。

**【請求項 5】**

溶融コーティング層コンパウンドの噴霧速度が一定に維持される、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記噴霧速度が 2 g / 分 ~ 8 g / 分である、請求項 5 に記載の方法。

**【請求項 7】**

噴霧空気圧 1 バール及び噴霧空気温度 1 0 0 ~ 1 2 0 が方法全体で用いられる、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 8】**前記被覆粒子の前記コーティングシステムが、滴点 3 0 ~ 8 5 度 を有する、少なくとも 1 種のワックス及び / 又は少なくとも 1 種の脂肪を含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法。**【請求項 9】**

前記被覆粒子の前記コーティングシステムが、モノステアリン酸グリセリン、カルナウバろう、カンデリラろう、サトウキビワックス、パルミチン酸、ステアリン酸、( 完全 ) 水素化綿実油、( 完全 ) 水素化パーム油及び ( 完全 ) 水素化ナタネ油からなる群から選択される、少なくとも 1 種のワックス及び / 又は少なくとも 1 種の脂肪を含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記被覆粒子の前記コーティングシステムが、カルナウバろう、カンデリラろう、サトウキビワックス及び（完全）水素化パーム油からなる群から選択される、少なくとも１種のワックス及び／又は少なくとも１種の脂肪を含む、請求項 9 に記載の方法。

**【請求項 11】**

前記被覆粒子の前記コーティングシステムが、前記被覆粒子の全重量に対して、コアを 50 重量％～90 重量％、及び前記被覆粒子の全重量に対して、コーティングシステムを 10 重量％～50 重量％含む、請求項 1～10 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 12】**

前記被覆粒子の前記コアが、ビタミン、多価不飽和脂肪酸、カロテノイド、ミネラル、及び植物抽出物からなる群から選択される、少なくとも１種の活性成分を含む、請求項 1～11 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 13】**

前記被覆粒子の前記コアが、ビタミン A、D、E、及び K（並びにその誘導体）などの脂溶性ビタミン；ビタミン B 群及びビタミン C などの水溶性ビタミン；並びに  $\alpha$ -カロテン、 $\beta$ -カロテン、8'- $\beta$ -アポ- $\beta$ -カロチナール、8'- $\beta$ -アポ- $\beta$ -カロテン酸エステル、カンタキサンチン、クルクミン、アスタキサンチン、リコピン、ルテイン、ゼアキサンチン及びクロセチンなどのカロテノイド；からなる群から選択される少なくとも１種の活性成分を含む、請求項 12 に記載の方法。

**【請求項 14】**

前記被覆粒子の前記コアが、ビタミン A、D、E、及び K（並びにこれらのビタミンのいずれかの誘導体）からなる群から選択される少なくとも１種の活性成分を含む、請求項 12 に記載の方法。

**【請求項 15】**

前記コアが、

（i）前記固体粒子の全重量に対して、少なくとも 20 重量％（wt％）の少なくとも１種の脂溶性ビタミン、

（ii）少なくとも１種の乳化剤、及び

（iii）少なくとも１種の非還元糖、

からなる、請求項 1～14 のいずれか一項に記載の方法。